

# 令和8年大磯町議会

## 3月定例会一般質問（2月26日・27日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>3番 鈴木たまよ議員 （60分） 9:05～10:05</p>	<p><b>1. 子どもたちが自分で考え、行動できる教育の推進について</b></p> <p>12月定例会で「学校現場における環境教育の進捗について」質問した。これまで繰り返し、自然環境に関連する一般質問をしてきた。というのも、自然を知り、自然と共に生きていくことが持続可能な社会だと考えているからである。</p> <p>都市化が進み、お金さえ出せばあらゆるものが手に入る便利な世の中になったが、一方で人と自然との関わりはどんどん薄くなり、私たち人間も自然の一部であることさえも忘れられつつあるように感じる。</p> <p>しかし、世の中がどんなに便利になっても、物質的に豊かになっても、地球で生きている限り、自然との関わりが無くなることはない。気候変動による猛暑や自然災害の激甚化などは、長年かけて人が作ってきた「便利すぎる世の中」がもたらした副産物ととらえる人も多い。</p> <p>また12月定例会で教育長も発言されていたように、食料の多くを輸入に頼っている日本は、食料危機も懸念される。</p> <p>難しい時代であっても、子どもたちが安心して幸せに生きていくために、自分たちで考え行動できるよう、私たち大人は知恵や術をつないでいく必要があると強く思う。</p> <p>次の2点について問う。</p> <p>（1）子どもたちへの身近な自然環境の学びについて</p> <p>（2）学校教育における食料危機の学びと農業体験について</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>2</p> <p>9番 石川 則男議員 （90分） 10:25～11:55</p>	<p><b>1. 町民のささやかな疑問・要望にどう応えるのか</b></p> <p>（1）消防団への寄附について</p> <p>①令和7年度9月補正予算で消防団への寄附を町の歳入に入れたが、歳出の消防運営費交付金はどんな使途に使える交付金か。</p> <p>②消防団への補正予算を可決して半年になるが何に使用したか把握しているか。</p> <p>③令和7年9月定例会で町長が「条例違反」と答弁した内容について、詳しく説明を求める。</p> <p>（2）防犯カメラの設置要望について</p> <p>最近大磯町も交通事故や特殊詐欺、空き巣・暴行事件等が増えているように感じているが推移を把握しているか。また独居の高齢者から特に、防犯カメラの設置を望む声が大きくなっている。安全安心なまちづくりに向け、町は今後どう取り組むのか。</p> <p>（3）社会福祉協議会について</p> <p>社会福祉協議会への大磯町の支援は他自治体と比べ十分か。</p>	<p>町長</p>

	<p><b>2. いじめ重大事態について</b></p> <p>(1) 被害児童保護者がお子さんの出席簿に関する情報公開を2022年秋申し出たところ、総務課の〇〇さんから「業務妨害になります」と言われたとのことだが、そのような対応をしたのか。</p> <p>(2) 被害児童保護者が求めている第三者委員会委員との面会については、町としては日程調整をしていたとのことだが、4か月もできなければ次の解決策を検討するのは当然と思う。教育委員会は被害児童保護者が何故ADR（裁判外紛争解決手続）に申し立てたと考えているのか。</p> <p>(3) ADRへの申し立ては令和7年8月13日である。第三者委員会委員との面会の日程調整が出来ていればもっと早く第三者委員会調査結果の公表が出来たと考えるが如何か。</p> <p>(4) ADRからの文書は令和7年8月15日付けで大磯町に発送され、町からADRへの答弁書は令和7年11月19日に発送した。答弁書で3か月、その前の第三者委員との日程調整で4か月かかっている。第三者委員会の調査結果公表を遅らせている責任は町にあると考えるが如何か。</p> <p>(5) ADRで町と被害児童保護者が令和8年1月9日に会ったと聞いているが事実か。今まで被害児童保護者に会えていないと言っていたが町から誰が出席したのか。</p> <p>(6) 第三者委員会の公表の記述方法については、黒塗りではなくて、個人名は児童A・B・C・D・E、学年A・B、クラスA・B、大磯町立小学校Aとしてはと私は考えるが、町はどう考えるか。</p>	町長 教育長
<p>3 2番 竹内恵美子議員 (60分) 13:00~14:00</p>	<p><b>1. 認定こども園の移行事業の現状とその進捗状況について</b></p> <p>当初、令和6年4月に開園予定だった認定こども園は、令和9年4月開園となり、3年間の大幅な遅れとなった。そして、令和7年11月からやっと新築工事が始まり、完成は令和9年2月頃を予定している。町長就任時から当初の予定通り進めていけば、今頃はすでにこども園が開園していたはずである。令和6年1月頃の意見交換会には、令和6年4月の開園を信じて転入し、入園した参加者もいらしており、「私の子どもはどうしてくれるのか」と嘆いておられた。</p> <p>町長は、本当に保護者の皆さんの思いをどのように感じているのか。町長が一番やらなければならないことは待機児童をなくすことである。</p> <p>そこで、次の3点について問う。</p> <p>(1) 今現在の待機児童の人数は。</p> <p>(2) 1月27日の福祉文教常任委員会協議会において、認定こども園の整備事業に係る入札を事業者が行った結果、不落随契により、工事事業者を決定し、3か年の事業費の合計が約2,200万円減額されたとの説明があったが、その内容の詳細は。</p> <p>(3) 取組みが3年程遅れたことにより、真澄児童福祉会から損失補償を求められていると思うが、現在の状況はいかがか。</p>	町長

	<p><b>2. 大磯町職員の人事体制について</b></p> <p>(1) 新人職員の定型的な業務フロー（執務指導要綱）等のようなものはあるのか。</p> <p>(2) 昨年10月末開催の総務建設常任委員会協議会において、令和8年度から5か年間の大磯町定員適正化計画（素案）によると、現在の職員数260人の目標から「300人以内（実働職員数280人程度）」と説明があった。</p> <p>職員の働く環境整備に向け、職員数を増やすことは重要との考えもあると思うが、職員が元気に生き生きとやりがいを持ち働くために、職員配置や定期異動、職員評価の仕方も重要である。</p> <p>そこで、次の点を問う。</p> <p>①定員適正化計画の目標「職員数300人以内（実働職員数280人程度）」は、職員数を300人まで増やす考えだが、短時間勤務職員（再任用や任期付など）は必要ないということか。</p> <p>②専門性があまり感じられない課等に何年も在籍する職員配置が見受けられるが、職員配置や定期異動の明確な基準や考えはあるのか。</p> <p>③職員のやる気を引き出すためにも、職員評価は必要と考えるが、現在の評価制度は、職員の意見ややる気が給与等に反映されるようなものになっているのか。</p>	町長
<p>4 12番 毛利 泰輔議員 (60分) 14:20～15:20</p>	<p><b>1. 職員の退職者増加について</b></p> <p>大磯町行政における施策の立案・施行、町民へのサービス充実には、優秀な職員の採用から経験豊富な人材（財）の継続的な確保が重要と考える。現在、普通会計職員264人、公営企業20人、合計284人の状況の中、大磯町第6次定員適正化計画（令和8年～令和12年度）（素案）では職員の増員が提案されている。</p> <p>直近の3年間においては、処遇改善のため給与が増額されて、ラスパイレース指数の改善がみられる中、この5年間の大磯町正規職員の退職者（定年、勸奨、自己都合）の推移をみると大幅な増加傾向にある。その退職理由は転職、健康問題、職場環境・待遇なのか諸々推察されるが、これらの状況に対する認識と対応策について問う。</p> <p>(1) 令和6年度は、令和5年度に比べて勸奨退職者が2人⇒4人、自己都合退職者が7人⇒10人、合計9人⇒14人（職員の5.3%）である。その大幅増加要因の認識は。</p> <p>(2) 令和7年度の状況（定年、勸奨、自己都合）と令和8年度以降に向けた対応は。</p> <p><b>2. 自主財源の税外収入について</b></p> <p>大磯町は人口減少含め、町税は大幅な増を望めない中、令和7年6月29日に町長は、新庁舎整備事業の「町民説明会」で税外収入の取組みとして、</p> <p>①ふるさと納税、企業版ふるさと納税、寄附金の促進</p> <p>②大磯港駐車場の収益の向上</p> <p>③観光施設の収益改善（ツアー商品開発）</p>	町長

	<p>これらにより財源確保対策推進と説明がなされた。</p> <p>財源確保は新庁舎整備事業だけではなく、今後予定されている大規模な投資が必要な案件が目白押しであり、継続的な取組みが必要である。</p> <p>これらの自主財源として重要な、ふるさと納税の促進と大磯港駐車場の収益の向上について問う。</p> <p>(1) 大磯町ふるさと納税の状況で、令和5年度、令和6年度、令和7年度(予算)の推移は、</p> <p>＜寄附金＞ 令和5年度 3,800万円、令和6年度 4,500万円、令和7年度 7,500万円</p> <p>＜減収分＞ 令和5年度 4,300万円、令和6年度 5,100万円、令和7年度 7,100万円</p> <p>＜収支＞ 令和5年度 ▲500万円、令和6年度 ▲600万円、令和7年度 400万円である。</p> <p>令和7年度(予算)において、収支がマイナスからプラスの400万円と説明されたが、その根拠と現況、令和8年度に向けた具体策は。</p> <p>(2) 大磯港駐車場の収支は、</p> <p>＜収入＞ 令和5年度 9,785万円、令和6年度 8,844万円、令和7年度 1億1,000万円</p> <p>＜支出＞ 令和5年度 5,669万円、令和6年度 6,423万円、令和7年度 6,813万円</p> <p>＜収支＞ 令和5年度 4,116万円、令和6年度 2,421万円、令和7年度 4,187万円である。</p> <p>令和7年度(予算)は、令和6年度に比較して、1.72倍、プラス1,766万円増の4,187万円と説明されたが、その根拠と現況、令和8年度に向けた具体策は。</p>	
<p>5 6番 二宮加寿子議員 (50分) 15:40~16:30</p>	<p><b>1. 公共下水道の整備について</b></p> <p>大磯町の公共下水道整備事業は、平成元年度に事業認可を受け事業を開始してから、令和8年度で概ね整備完了とのことで、令和9年度以降も小規模整備を継続的に進め、整備事業もようやくひと段落する。</p> <p>しかし、整備開始から約40年弱が経過し、初期の段階で整備した下水道管は老朽化していると思われ、今後は、新しい管への交換や長寿命化に向けた維持管理などの対応も必要と思われる。</p> <p>埼玉県での下水道管破損などによる大規模被害が起きぬよう、今後の下水道管や設備への対策や今後の計画などについて、次の点について問う。</p> <p>(1) 令和8年度概成後の未整備箇所の整備はどのように計画しているのか。</p> <p>(2) 埼玉県で発生した事案後に国、県から対策に関する通知などはあったか。またその後の町の対応は。</p> <p>(3) 既存管の交換などの維持管理や長寿命化をどのように計画的に取り組んでいくのか。また、今後想定する予算規模は。</p>	<p>町長</p>

- |  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(4) 公営企業会計の独立採算の原則に基づき、収入の根幹となる下水道使用料の改定の考えは。</p> <p>(5) 現在の下水道管や付帯設備などの耐震化の状況は。</p> |  |
|--|---|--|

質問議員	質問事項(2日目)	
<p>6</p> <p>11番 高橋 英俊議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p><b>1. 大磯町公共施設等総合管理計画等の改訂について</b></p> <p>公共施設等総合管理計画は平成29年3月の策定当初において、計画期間30年とし、10年ごとの改訂を通じて継続的な取組みを推進しますとなっている。令和8年度で10年となることから、令和9年度から次の10年間にに向けて改訂が行われるものと思われる。</p> <p>また、総合管理計画を踏まえ、各施設の具体的な将来の対策を定める「大磯町公共施設等第1期個別施設計画」が平成30年3月に策定され、平成29年度から令和8年度までの10年が計画期間となっている。計画には、第1期以後は、10年ごとに第2期、第3期に分け計画の策定を行うとなっているが、こちらも令和9年度から10年間の第2期個別施設計画を策定されるものと思われる。</p> <p>そこで次の点について問う。</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画の改訂に向けての状況は。</p> <p>(2) 公共施設等第2期個別施設計画の策定に向けての状況は。</p> <p>(3) 第3次行政経営プランとの整合性はどのようになるのか。</p>	<p>町長</p>
<p>7</p> <p>8番 鈴木 京子議員 (90分) 10:20~11:50</p>	<p><b>1. 危機的状況にある大磯町の農業をどう支えるのか</b></p> <p>農業センサス等のデータをみても、大磯町の農業は他の類似自治体同様、後継者難をはじめ危機的状況にあると考える。食料自給率を上げるためにも、農地の保全・活用を広げる対策は待ったなしである。今まで出された議会や農業委員会等の議論は直近のデータをいかし進んでいるのか。</p> <p>また、地産地消の学校給食を進めるためには、農家やJA等の実情の把握が欠かせないが、現状はどうか。教育委員会との連携等について、所見を問う。</p> <p><b>2. 職員の働き方改革、職場環境改善策を問う</b></p> <p>職員が生き生きと働くことは、住民サービスの向上につながる。しかし、職場環境の改善は遅々として進んでいないと考える。町長の言われる「風通しの良い職場」とは、具体的にどのようなことなのか。職員は相談や苦情だけでなく、様々な提案や改善策を持っていると確信している。率直な意見を建設的に議論し、改善につなげることができる環境づくりについて、所見を問う。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>8</p> <p>7番 橋本 秀彦議員 (40分) 13:00~13:40</p>	<p><b>1. 中学校給食について</b></p> <p>大磯中学校や大磯小学校の保護者から、自校式による給食の決定がされてから久しくなるが、その後の経過はどうなっているかとのお声を複数頂き、令和7年3月の一般質問で中学校給食について取り上げた。</p> <p>「自校方式やセンター方式など、いろいろな方式の検討を急ぎ、温かい給食が提供できるように力を入れていきたい」との答弁をいただいた。</p> <p>1年が経過し、次の点を問う。</p> <p>(1) 実現に向けて、令和7年度に取り組んだことは。</p> <p>(2) 見直しも含めた計画はいつ決定するのか。</p> <p>(3) 大磯町の中学校給食はいつ実現するのか。</p>	<p>町長 教育長</p>

<p>9 15 番 亀倉 弘美議員 ( 60 分) 14 : 00～15 : 00</p>	<p><b>1. 包括的性教育の導入について</b></p> <p>令和 7 年 9 月定例会において、「子どもの権利」について取り上げた。子どもは基本的人権を持つ主体的な存在であり、その声を聴くことが社会的に求められるようになってきている一方で、いまだその考え方が十分に浸透しているとは言い難い状況にある。</p> <p>国際的な調査においても、日本の若者は自己肯定感や自己有用感が低い傾向にあることが指摘されているが、これらにつながる「自分を大切に思う力」や「他者を尊重する力」の形成には、成長段階に応じた適切な性教育が深く関わっていると考えられる。</p> <p>近年では、子どもの権利とジェンダー平等を基盤に、年齢や発達段階に応じて、自分の体と心を大切に、他者を尊重しながら主体的に判断・行動する力を育む教育として、「包括的性教育」の重要性が国際的にも広く認識されており、国内においても、独自に工夫しながら取組みを進める自治体や学校が見られるようになってきている。</p> <p>そこで、30 年以上前から服装の自由化やインクルーシブ教育、男女混合名簿など、先進的な人権教育を実践してきた本町において、性教育の現状と今後の方向性について、次の点について問う。</p> <p>(1) 大磯町における子どもへの性教育の実施状況について (2) 子どもの権利やジェンダー平等の視点を踏まえた性教育の充実について、大磯町としてどのように認識しているか。</p>	<p>町 長 教育長</p>
<p>10 10 番 おかみゆき議員 ( 50 分) 15 : 20～16 : 10</p>	<p><b>1. 神奈川県「ペトリエゾン」の取組みに対する町の対応は</b></p> <p>高齢者や独居世帯において、急病・救急搬送、入院の長期化、施設入所等を契機に、ペットが自宅に取り残される置き去り、または生活困窮や心身の不調等を背景に飼育困難化や多頭飼育崩壊が進む事案が現場で確認されている。</p> <p>犬の飼育頭数の全国平均は人口比で約 5.5%であるのに対し、大磯町は令和 8 年 1 月 1 日現在 1,974 頭で人口比約 6.5%となり、さらに世帯数 13,089 世帯に対しては約 15.1%に相当することから、一定の飼育規模を踏まえた未然防止と緊急時対応の体制整備が必要である。</p> <p>これらの課題は民生委員や地域包括支援センター等の努力のみでは対応が難しい局面があり、町として相談できる行政窓口の明確化、緊急時の対処フローの整備、地域コミュニティを活用した見守り・支援体制の構築を進めるべきである。</p> <p>加えて、神奈川県は福祉関係機関を訪問し、ペットに関する困りごとの解決を支援するペトリエゾンを開始している。これを踏まえ、町におけるペットの置き去り、飼育困難、多頭飼育崩壊の未然防止に関する実態と、県との連携を含む町の対応について問う。</p>	<p>町 長</p>

	<p><b>2. 三沢川（国道1号・三沢橋付近）における浸水対策の実効性と、流域全体を視野に入れた抜本的対策について</b></p> <p>令和6年台風10号に伴い、国道1号三沢橋付近で三沢川の氾濫等により冠水が発生した。同様の事案は大雨の際に複数回起きており、住民生活・通行・救急活動等への影響が懸念される。</p> <p>今回、雨水管工事に踏み切った一方で、令和7年11月29日に行った住民説明会において住民からは「これで根本解決となるのか」「三沢川の雨水を国道側の雨水管へ直結するなど、より効果の高い案が必要ではないか」「山側上流側に雨水をためる貯留施設も必要ではないか」等の声が挙がっている。</p> <p>よって、今回計画される工事の効果検証と、流域治水の観点から、再発防止と住民の安心につながる打開策の見通しを確認する。</p>	町 長
--	--	-----

## 10名15問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。